



DataScientist Society

学生向けアンケート ＜データサイエンティストについて＞

2022年3月31日

一般社団法人 データサイエンティスト協会

調査・研究委員会

学生向けアンケート (データサイエンティストについてのアンケート)

調査対象 : 日本国内（全国）の大学生・大学院生
・ 男性：300サンプル、女性：300サンプルで割当
・ 学年、所属学部などでは割当せず

調査手法 : インターネット調査
・ 上記条件によるスクーリング後に本調査を実施

調査期間 : 2021年12月1日～12月3日

有効回答数 : 計600名

注：本調査資料の百分率表示は小数点以下を四捨五入しているため、
合計しても100%とならない場合がございます。

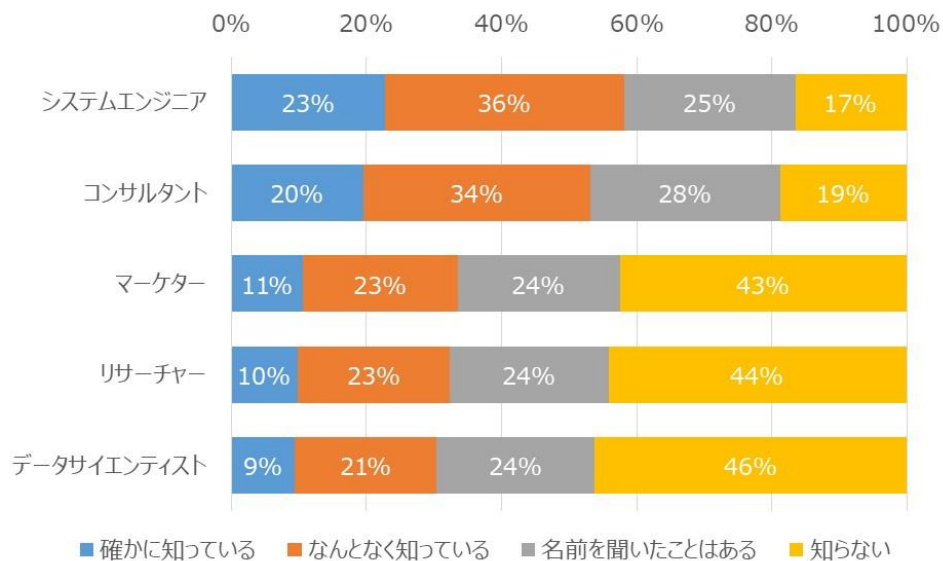
- 本アンケートでは、次の5つの職種についてそれぞれ認知度や興味度合い、またイメージや就職意向を調査しました

- データサイエンティスト
- システムエンジニア
- マーケター
- コンサルタント
- リサーチャー

Q.あなたは、以下の職種を知っていますか。

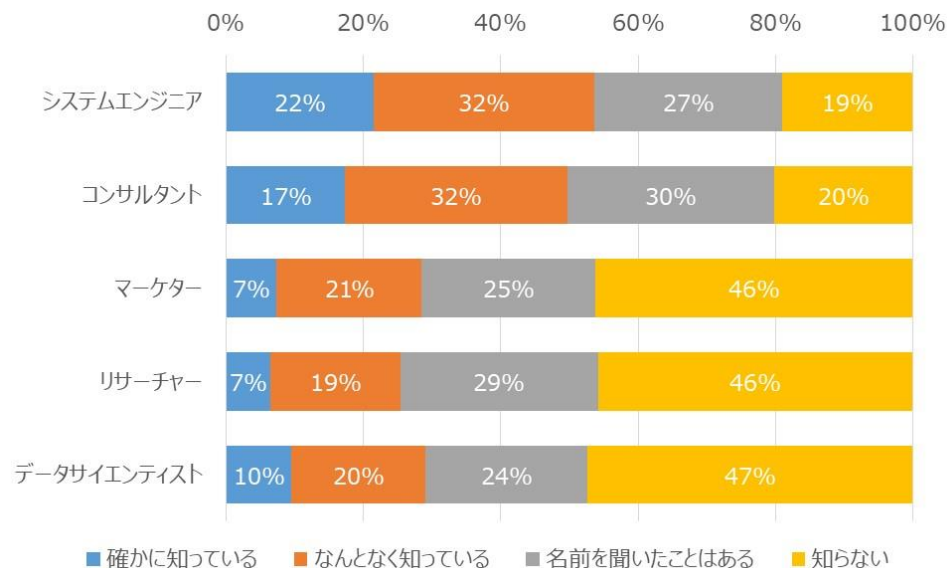
**「名前を聞いたことがある」までの認知度をみると、
データサイエンティストの認知度は5職種の中で最も低い**

2020年



n=600

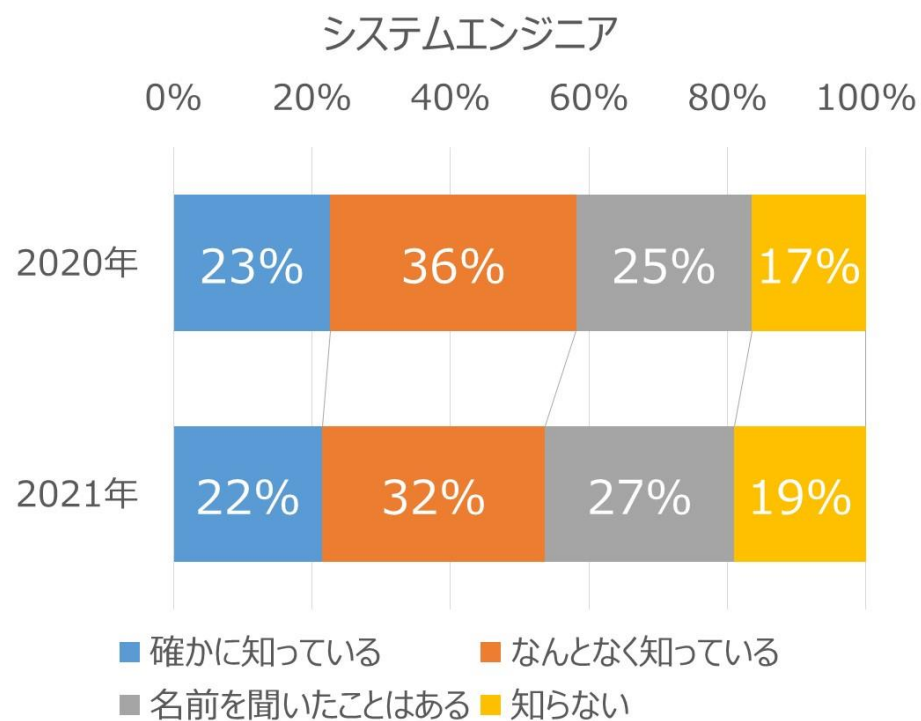
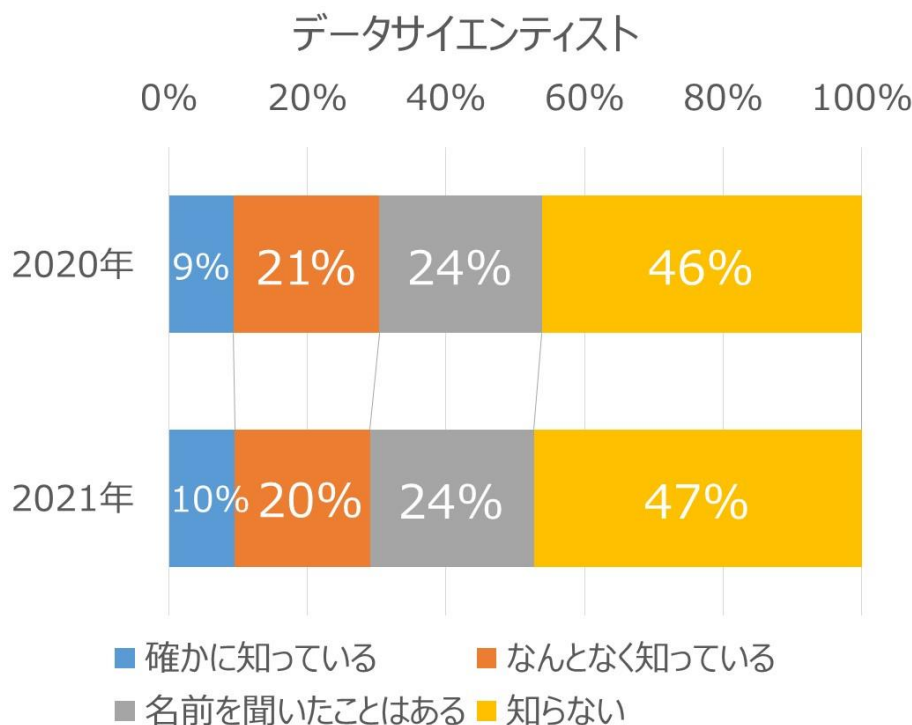
2021年



n=600

Q.あなたは、以下の職種を知っていますか。

システムエンジニアは認知度合いの高い先がやや減少 データサイエンティストはあまり変化が見られない

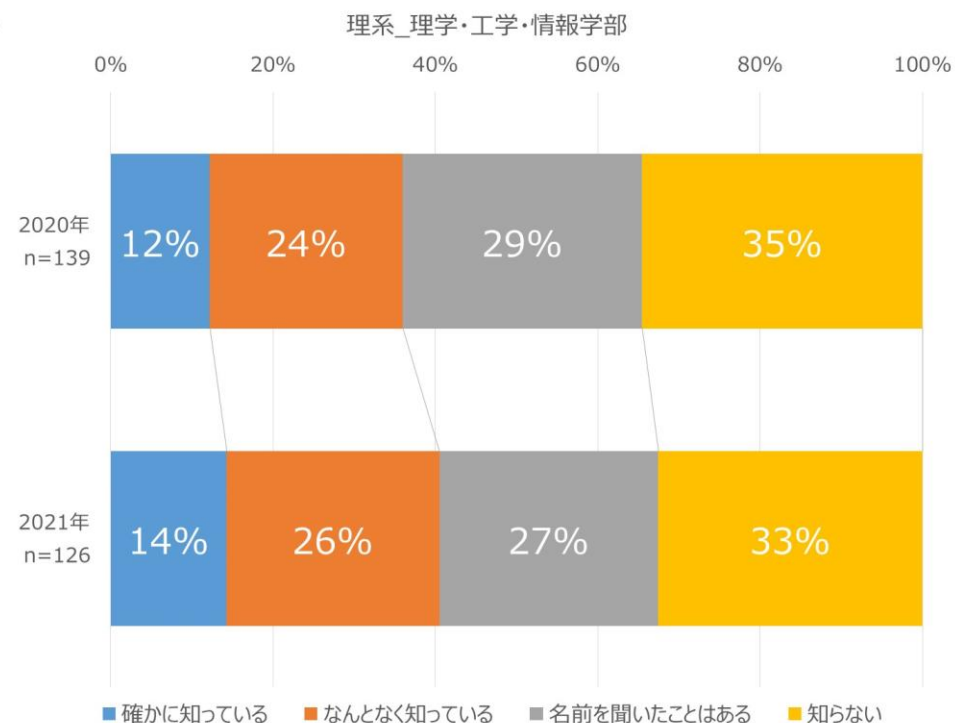
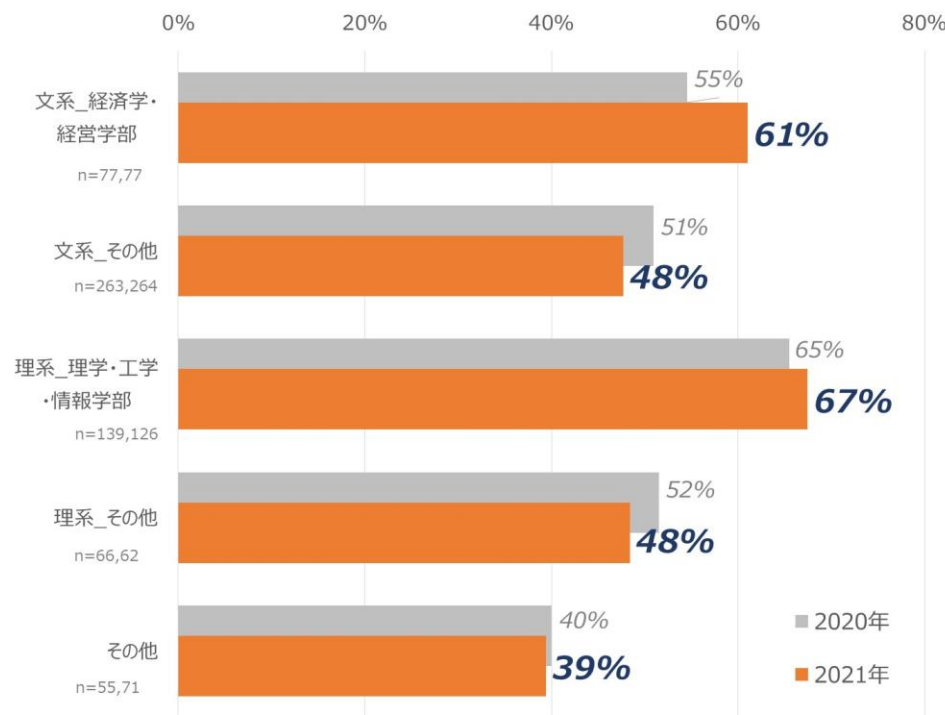


n=600

データサイエンティスト認知度（学部別）

Q.あなたは、以下の職種を知っていますか。（データサイエンティスト）

**理学・工学・情報学部の学生では
「確かに知っている」「なんとなく知っている」は4ポイント増**



「確かに知っている」「なんとなく知っている」「名前を聞いたことがある」

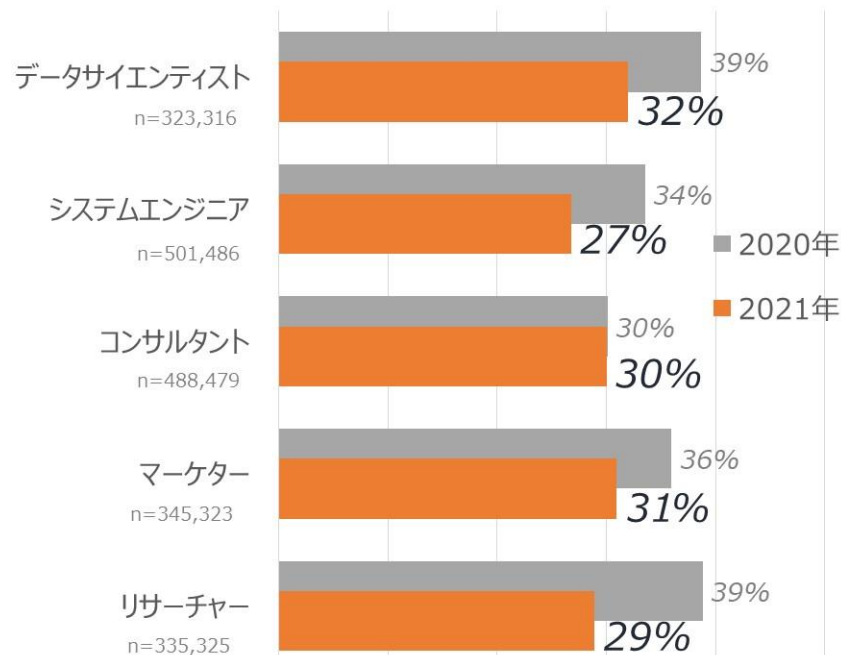
職種別興味度合い／就職意向

Q.あなたは、以下の職種に興味がありますか／就職をしてみたいと思いますか

各職種を認知している学生でみると、5つの職種に対する 興味・就職意向は同水準だが、昨年と比較して減少傾向

興味あり割合

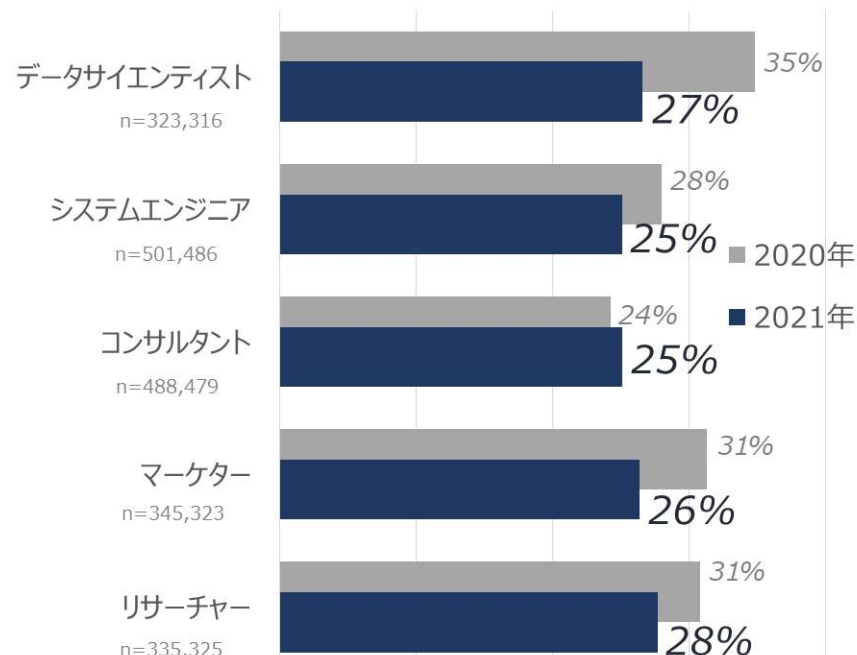
0% 10% 20% 30% 40% 50%



「興味がある」「どちらかといえば興味がある」

就職意向あり割合

0% 10% 20% 30% 40%



「就職してみたい」「どちらかといえば就職してみたい」

各職種を「確かに知っている」「なんとなく知っている」「名前を聞いたことがある」と回答した学生

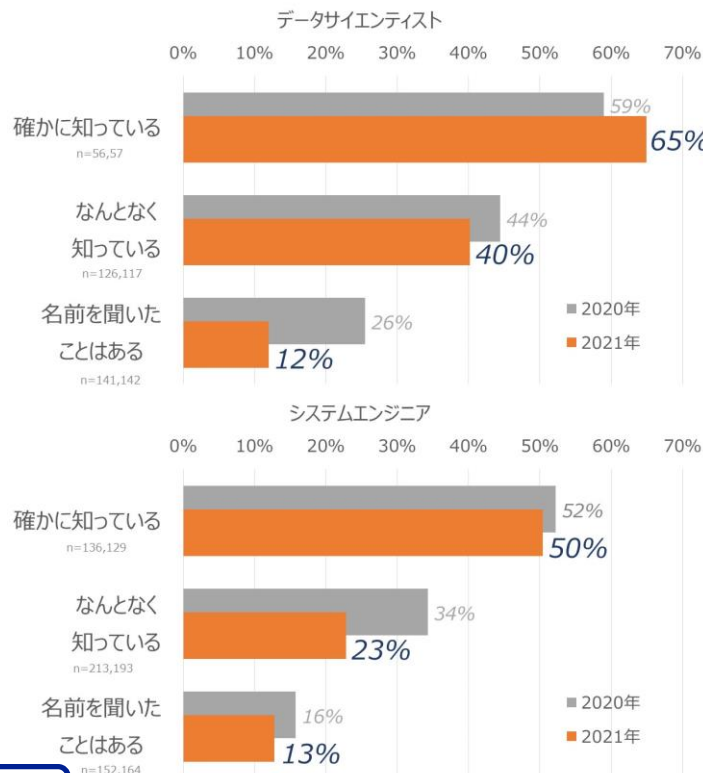
職種別興味度合い／就職意向（認知種別別）

Q.あなたは、以下の職種に興味がありますか／就職をしてみたいと思いますか

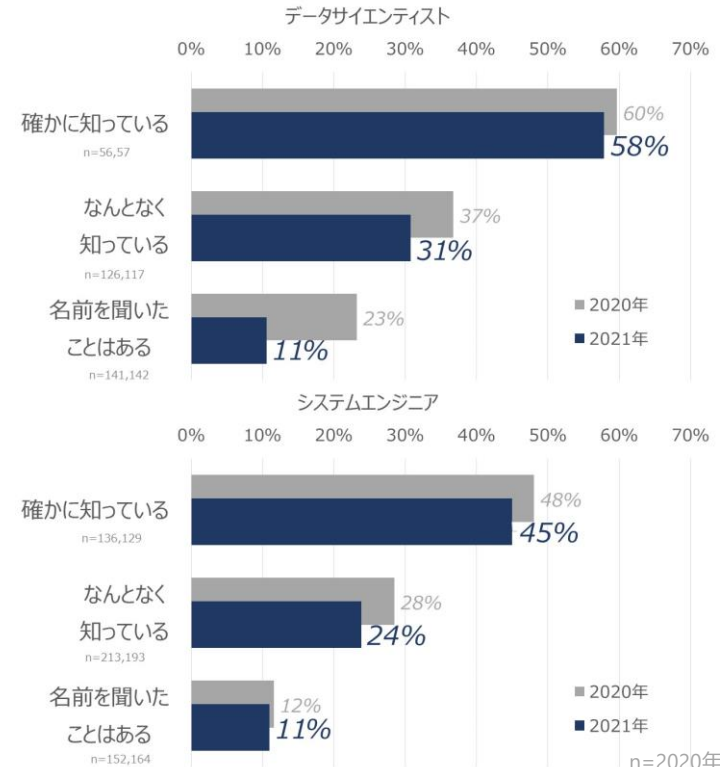
- ・ DSを「確かに知っている」学生では興味度合いは増加
- ・ 一方で「なんとなく」「名前を聞いた程度」の学生で興味や就職意向が特に大きく下がっているのが要因

【興味あり割合】

DS認知者



【就職意向あり割合】

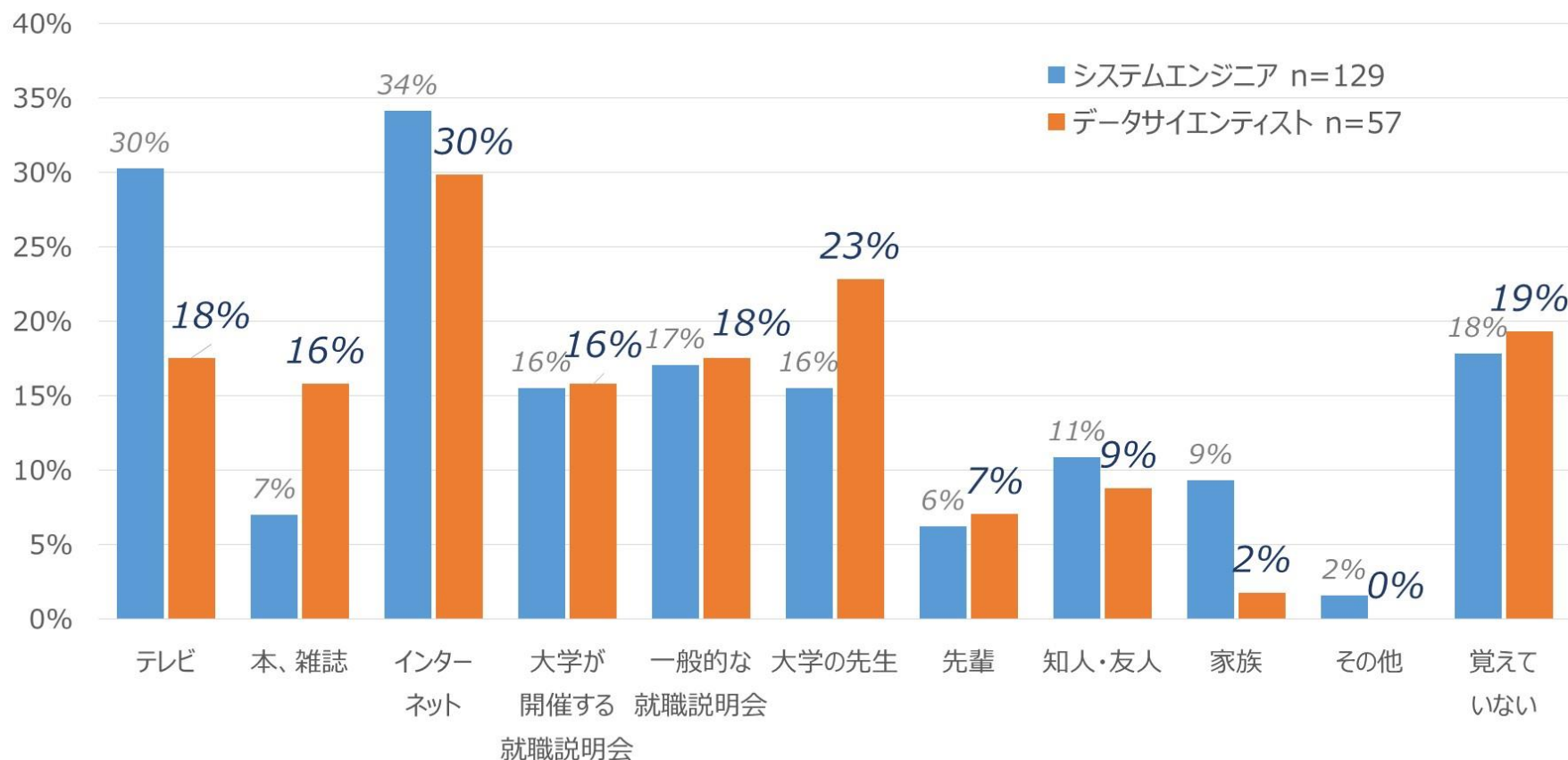


n=2020年、2021年

認知経路（データサイエンティストとシステムエンジニア）

Q.あなたがその職種を知ったきっかけは何ですか。（MA）

**インターネットからの認知が高く、
次いで大学の先生や就活での認知が高い**



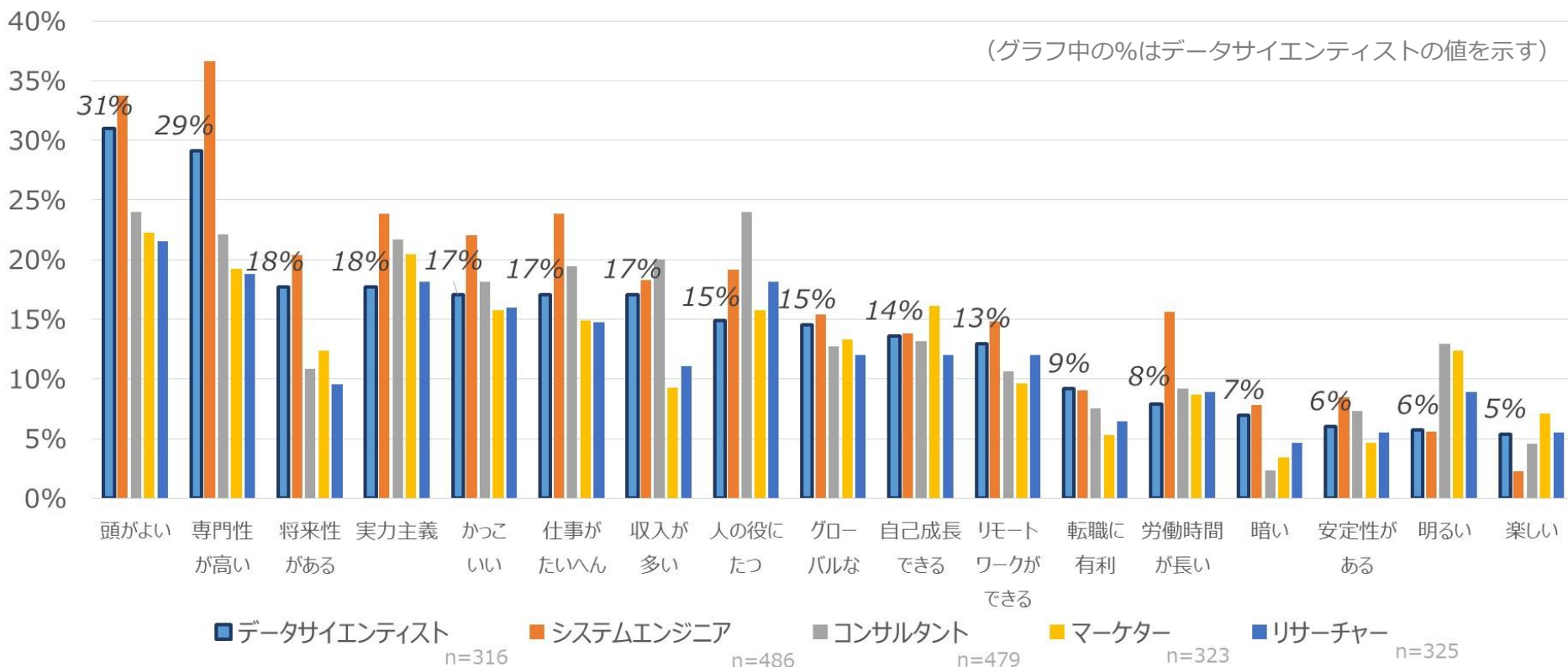
「確かに知っている」学生

職種別のイメージ

Q.あなたは、以下の職種に、どのようなイメージを持っていますか。(MA)

データサイエンティストのイメージ 「頭がよい」「専門性が高い」

(グラフ中の%はデータサイエンティストの値を示す)

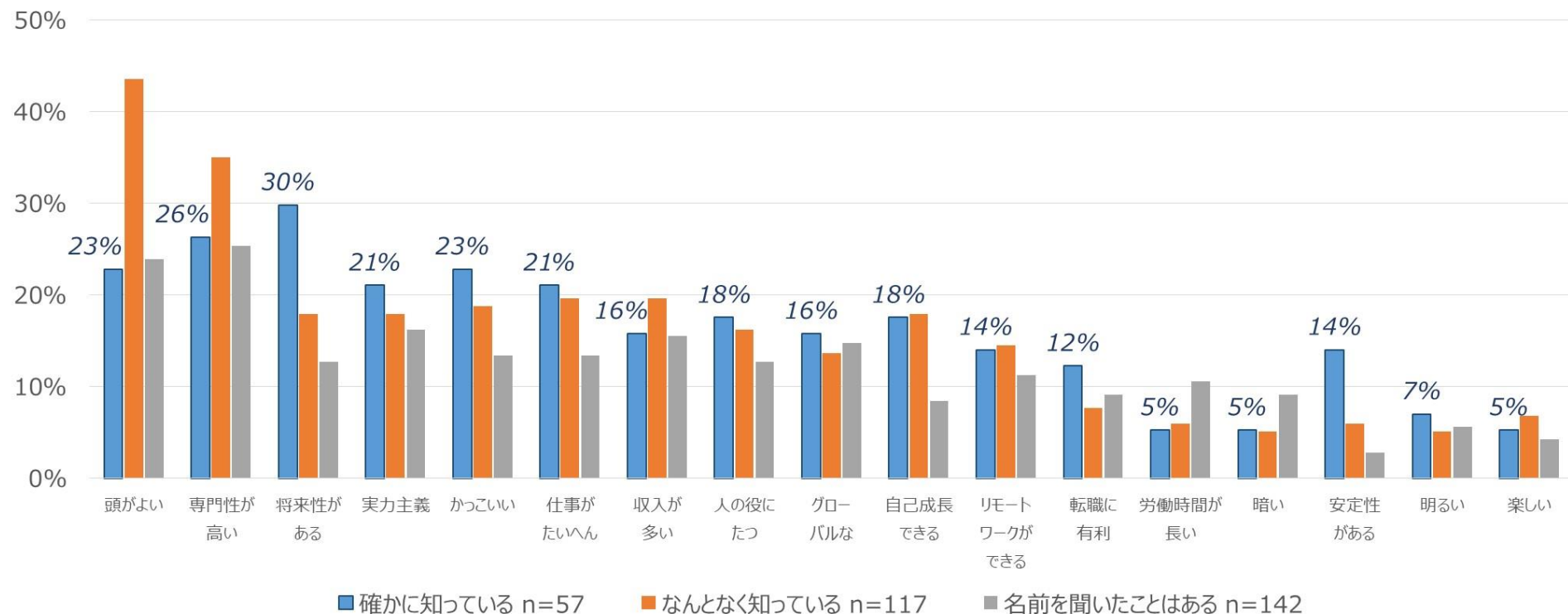


各職種を「確かに知っている」「なんとなく知っている」「名前を聞いたことがある」と回答した人

データサイエンティストのイメージ（認知種類別）

Q.あなたは、以下の職種に、どのようなイメージを持っていますか。（MA）

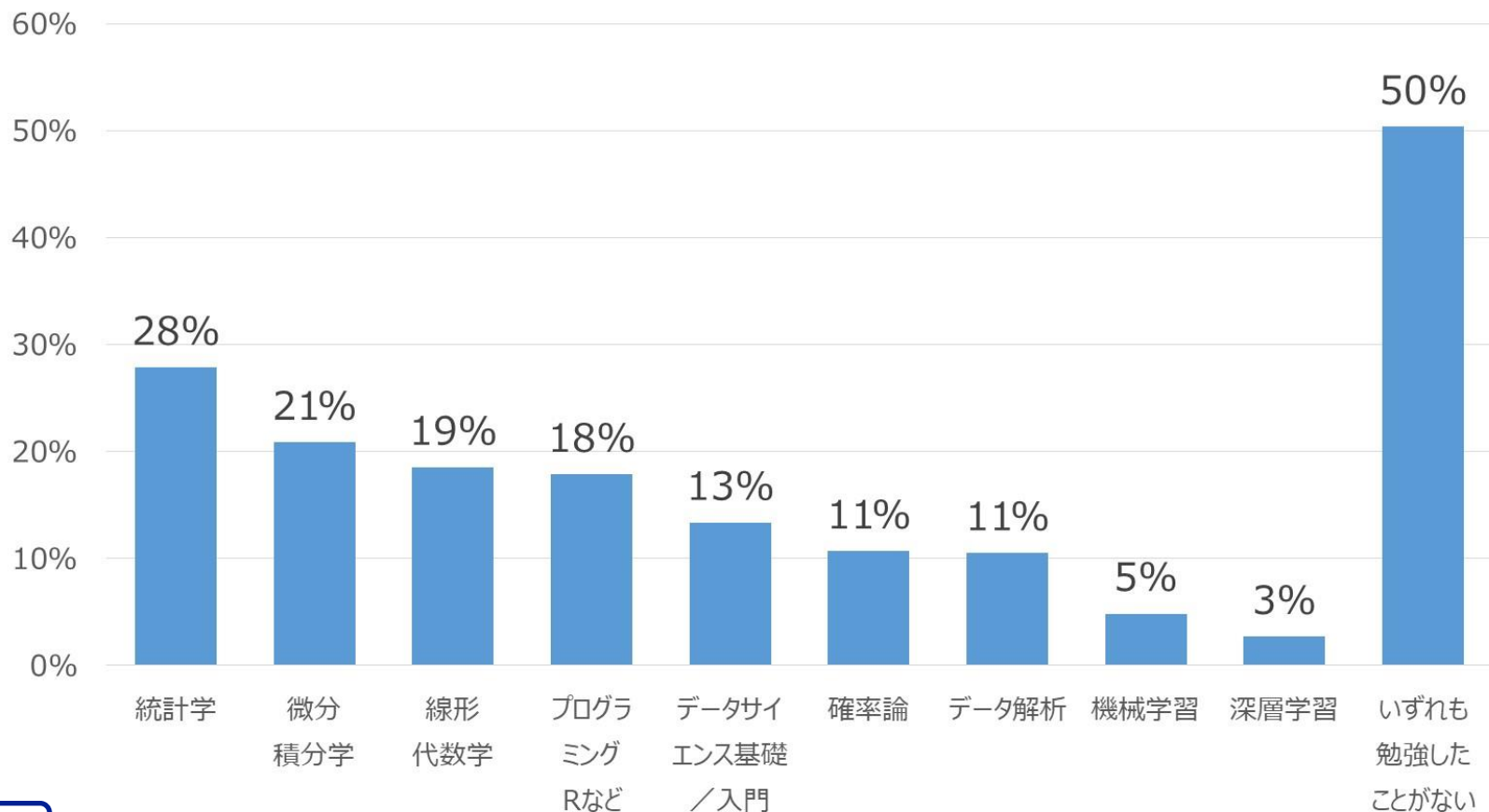
**確かに知っている学生は、“頭が良い”よりも
“将来性がある”イメージを持っている**



数学・データサイエンス関連授業の受講状況

Q.大学に入学以降、次の中で、あなたが授業を受けたり、自身で勉強したことがあるものはどれですか。（MA）

データサイエンス関連は10%程度の受講に留まる 半数の学生はいずれも勉強したことがない



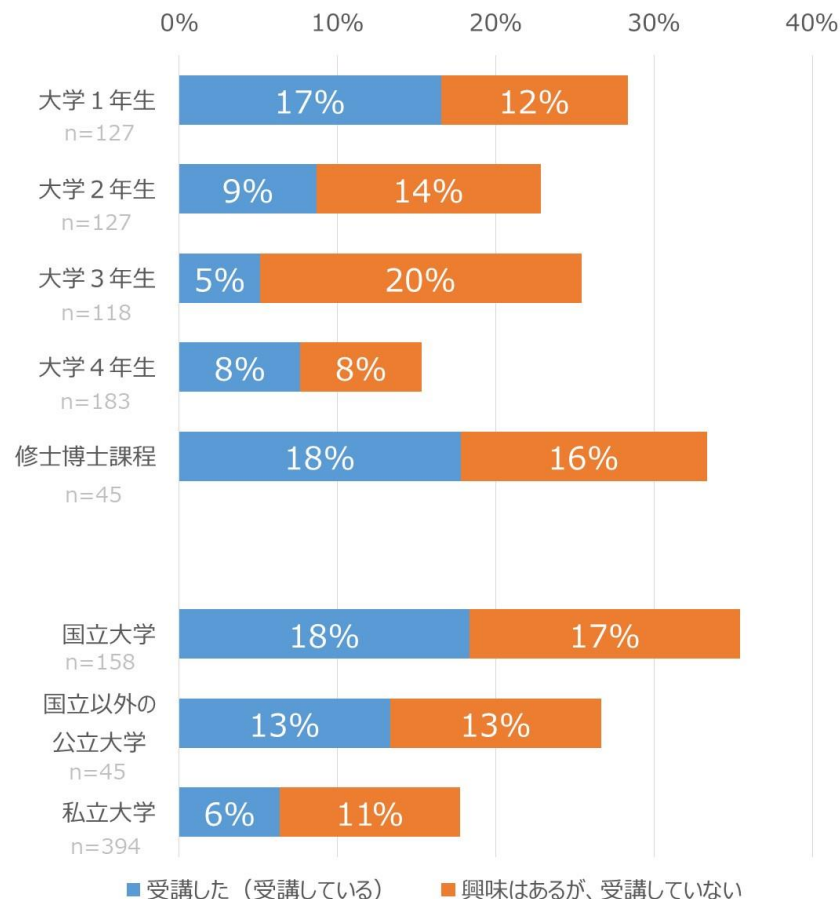
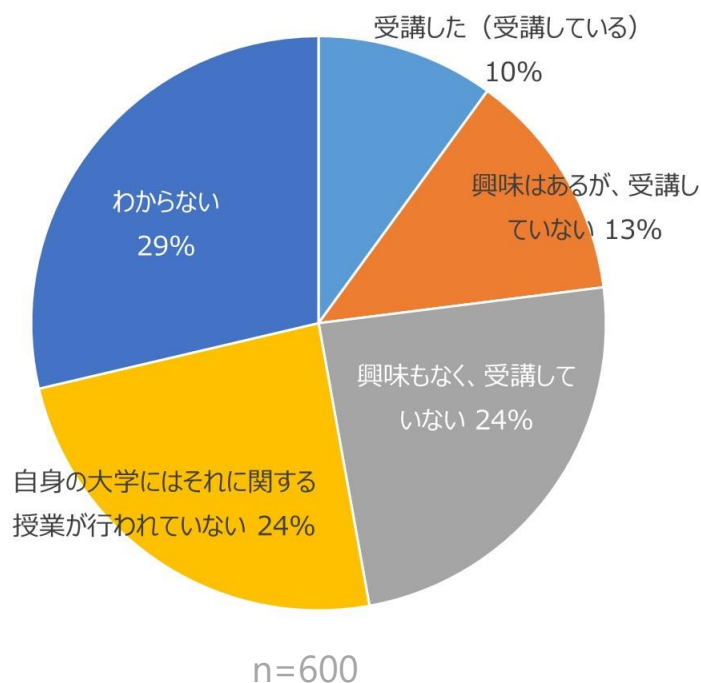
学生全体

n=600

データサイエンス関連授業の受講状況

Q.あなたは、大学においてデータサイエンスに関する授業は受講していますか。

**ここ最近の大学の取り組みもあり、1年生での受講が高い
国立大学では受講した学生が20%に迫る**



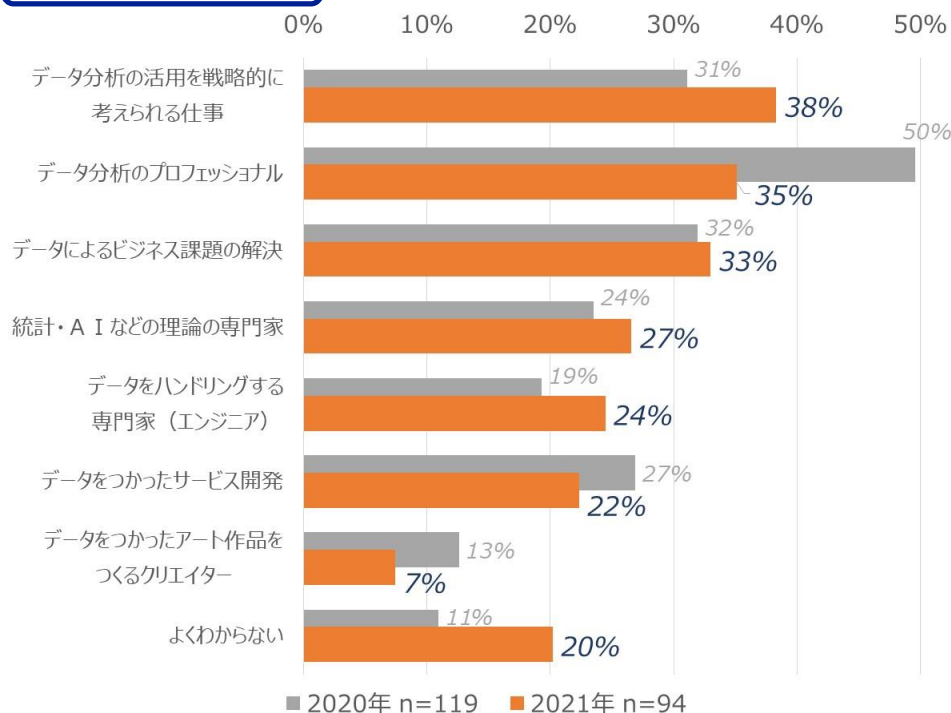
学生全体

データサイエンティストでしたい仕事

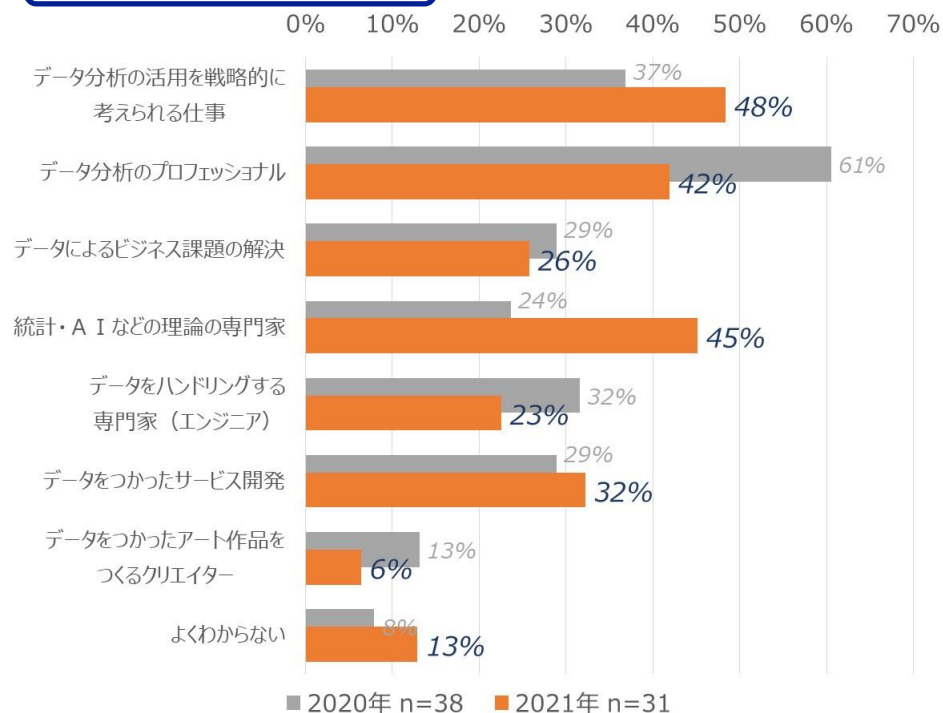
Q.あなたはデータサイエンティストとして、どんな仕事をしたいと思いますか。(MA)

「データ分析のプロフェッショナル」が大幅にダウン 理学系学生では「理論の専門家」が特に高くなっている

DS就職意向あり学生



理学部・工学部・情報学部学生



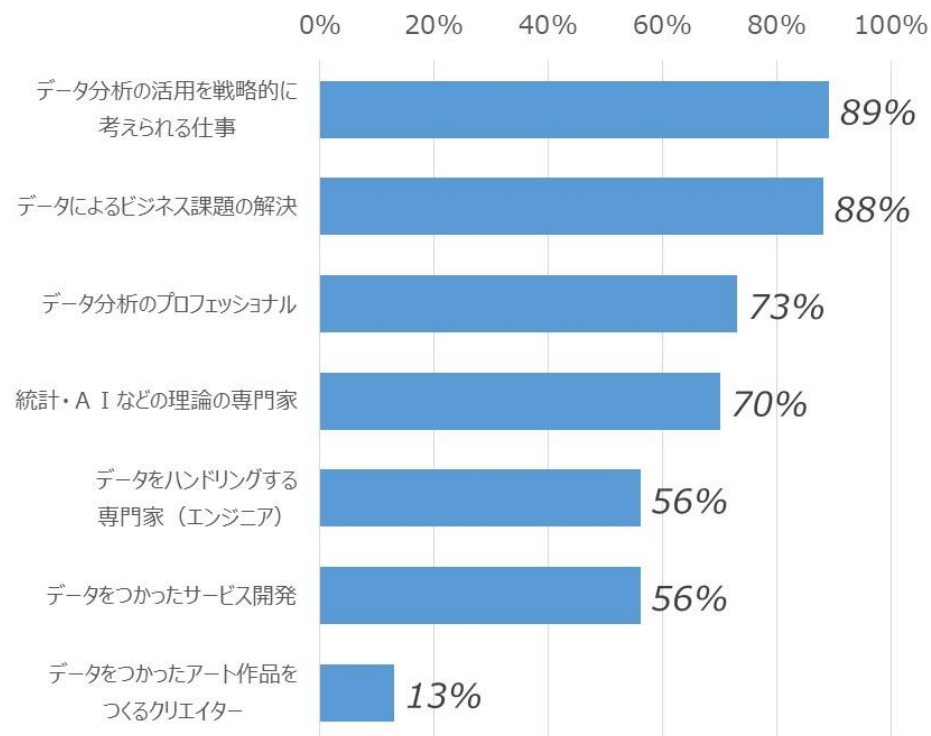
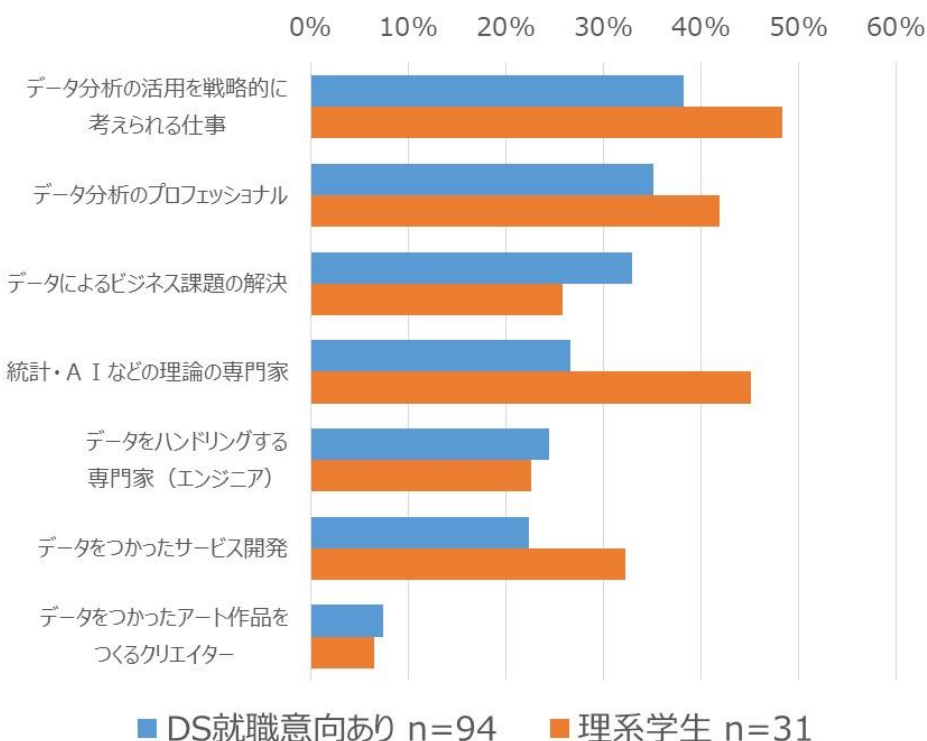
データサイエンティストでしたい仕事

(学生向け) Q.あなたはデータサイエンティストとして、どんな仕事をしたいと思いますか。(MA)

(企業向け) Q.今後3年間で、貴社が採用・育成したいデータサイエンティストの人材像は (MA)

企業側はビジネス力あるDSを求めているが、 学生側はサイエンス力を発揮できる仕事意欲が強い

【参考】DSの採用に関する企業アンケート n=88



データサイエンティストの認知度は依然として低い、理系学生での興味は拡大

- データサイエンティストの認知度は、昨年度調査から大きな変化は見られず、システムエンジニアやコンサルタントの認知度と比べて低い
- 理学部・工学部・情報学部といった理系学生での認知度も上がっており、興味度合い・就職意向も増加している
- 経済学部・経営学部の文系学生の認知度も拡大傾向

データサイエンティストは良いイメージを持たれている

- “頭がよい” “専門性が高い”といったイメージを持たれている
- データサイエンティストを確かに知っている学生では、“将来性がある”イメージが最も多い

データサイエンス関連授業の受講は浸透傾向も、学生全体ではまだ発展途上

- データサイエンス関連授業の受講は、学生全体では10%程度
- カリキュラム変更に伴い、大学1年生では、受講した人は17%、興味ある人も12%